

学校教育目標「自ら考え、主体的に行動する子どもの育成」	No2
くすのき小学校 学校だより	2026
	5月
四條畷市立くすのき小学校 校長 花岡 純	5月1日(金)
大阪府四條畷市二丁通町18-1	発行



左の二次元コードを読み取っていただくと、くすのき小学校のHPにアクセスできます。学校だよりをカラーでも閲覧できますので、ご活用ください。



新たな出発に向けて

転出された先生と子どもたちにとっての新たな出発として、4月17日(金)に離任式を行いました。「くすのきの子どもたちと楽しく過ごせました」「みんなのことを忘れないよ」。転任された先生からのメッセージを胸に涙する子どももいましたが、さみしい気持ちも受け留めて、たくましく成長できる一歩に。

お世話になった先生方、ありがとうございました。新天地でのご活躍をお祈りしています。



※令和7年度末・8年度当初 異動教職員について、お伝えできていなかった方についてお知らせします。

転出者 公開していません



1年生の給食も始まりました

「明日のパンも楽しみ」「給食、おいしい〜」とうれしそうに話をしながら、初めての給食を楽しんでいました。4月

16日(木)から1年生の給食も始まりました。エプロンを着けて、お皿におかずをよそい、おぼんをもって給食を配り、当番活動も頑張っています。自分の役割に責任をもって行動することで、自信につながっていきますね。



資料を読んで、思考を巡らせて

学校における児童への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立て、教育に関する継続的な検証改善サイクル



を確立することを目的に、6年生は全国学力・学習状況

調査及び大阪府が実施する調査すくすくウオッチ(理科と教科横断的なわくわく問題)、5年生はすくすくウオッチ(国語・算数・理科)を行いました。

先生から「難しい問題もあるかもしれないけれど、自分の

言葉で書くことに挑戦しよう」という励ましもあり、問題を読んで、条件に合わせて書くことなどにチャレンジしました。

「『苦手』と『嫌い』」という題名の文章について話し合う活動に関する出題がありました。くすのき小学校で校内授業研究として取り組んできた話し合うこと領域に関する問題です。子どもたちの力が試される問題ですね。

問題番号を書いたり、解答用紙を切り取ったり、マークシートを塗りつぶしたりと普段のテストではしないことがたくさんある中、最後まで頑張りました。



三 林さんは、「文章を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことになりました。次の『話し合いの様子の一語』をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一語】

林さん 「私は『苦手』と『嫌い』という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の(一)部分を示しながら(この部分が特に考えさせられたんだ。

小川さん どうなことを考えたの。

林さん この部分のあとにいろいろ事例が出てくるけど、これら事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえたらどう思うか。

小川さん なるほど。文章と自分の経験を結びつけて考えたんだね。

林さん そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだっただけで、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。

小川さん ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だから嫌い」ということと少しちがうことと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だから嫌い」ということと少しちがうことと少しちがうことを考えたんだ。

5 (話し合いが続く)

(出典 文部科学省 国立教育政策研究所)

いろいろな先生と力を合わせて

今年度、くすのき小学校には、新たに



①英語専科の加配

教員の授業持ち時間の軽減、専門分野を活かした質の高い授業の実施のための加配(ジョセフ先生)

※4年生の外国語活動、5・6年生の外国語

※英語指導助手(ALT)の加配(エステファニア先生)は、3年生の外国語活動

②SC(スクールカウンセラー)

子どもや保護者の個別面談をととして、思いやニーズを把握する等の役割を担うスクールカウンセラー(谷口先生)

※今年度から週1回(主に、木曜日)の勤務になります

※面談日時調整は、支援Cの藤原先生が行います。面談希望がありましたらご一報ください

③SSW(スクール・ソーシャルワーカー)

困り感を抱える子どもや家庭と関係機関をつなぐ等の役割を担うスクールソーシャルワーカー(高田先生)

※週1回(主に、火曜日)の勤務になります

また、昨年度から引き続いて、

・市の学力課題に正対した取組を学校全体で行うための確かな学びをはぐくむ

学校づくり推進校の加配(白神先生)

・専門性のある教員が指導し小学校における教科担任制を推進する小学校専科

加配(井上先生)

・児童の登校や別室での学習支援等を行う校内教育支援員(平川先生)

・授業準備や子どもと向き合う時間を確保し教職員の業務負担を軽減するための

教員業務支援員(スクールサポートスタッフ 田中先生、松井先生)

など大阪府・四條畷市のご尽力・財源をもとに様々な人材が配置されています。多くの先生と力を合わせて、子ども・家庭、教職員を支えながら、教育活動を行ってまいります。



就学援助制度の案内

学校で必要な費用の一部を市で援助する就学援助制度を希望される方は、当初受付期間が5月8日(金)までになっています。

①オンライン

②四條畷市教育委員会 学校教育課窓口

③郵送

により申請ができますので、4月13日に学校から配布している「令和8年度 就学援助制度の案内」を確認ください。